

第五回


応現院



文化講演会

# 認知症の医療とケア

- 今とこれから -

3月15日  14時～  
講演会=60分

講演者 聖マリアンナ医科大学名誉教授  
酒風会認知症会議研究・研修実行センター長

長谷川 和夫 氏



主催：応現院文化講演会実行委員会／後援：立川商工会議所・立川観光協会・立川バス株式会社／協力：株式会社精神文化映像社・えくてびあん・多摩てびこネット／協賛：真如苑



## 講演者 長谷川 和夫氏

【講演者略歴】東京都医科大学卒業後、同大学助教授、東京都老人総合研究所心理精神医学部長、聖マリアナ医科大学学長、理事長などを経て、現職に至る。専門は老年精神医学・認知症。長谷川式認知症スケール(HDS-R)の開発者として有名。開発されたのは、今から30年以上前の1974年のこと。一方、最近では、「痴呆」から「認知症」への名称変更の立役者でもある。

【著書】『認知症の知りたいことガイドブック』(中央法規出版)、『認知症を正しく理解するために』(マイライフ社)、『名医に学ぶ認知症診療のこれまでとこれから』(永井書店)などの著書多数。



### ◆ 応現院文化講演会について

「応現院文化講演会」は、立川市泉町にある真如苑の寺院「応現院」を、地域の皆さまに文化交流の場としてご活用いただくことを目的に実施されるものです。この機会に、多くの方々にご参加いただけるように、地元立川の諸団体の協力をいただきながら、応現院文化講演会実行委員会が企画・運営しております。

5回目となる今回は、認知症研究の第一人者である長谷川和夫聖マリアナ医科大学名誉教授をお迎えします。1974年に長谷川式認知症スケール(HDS-R)を開発、最近では「痴呆」から「認知症」への名称変更の立役者としても知られる長谷川氏は、認知症および介護に対する正しい理解と誰もが安心して老後を送ることができる社会づくりを目指して、長年尽力されています。高齢化社会の進展に伴いますますます身近な問題になってきている認知症とは何か、その主な原因疾患であるアルツハイマー病の経過、治療、予防等について、さらに社会的支援が不可欠な介護の問題についてお話しいただきます。参加は無料、中学生以上のどなたでも応募いただけます。尚、応現院では、今後も講演会等を開催し、地域の皆さまに親しんでいただける企画を提供していく予定です。



◆ 場 所：応現院 立川市泉町935-27

◆ 交 通：【立川バス】立川駅北口曙バスターミナル、玉川上水駅南口から応現院行き  
【多摩都市モノレール】立飛駅から徒歩10分 ※お車でのご来場はご遠慮ください

◆ 入 場：無料(対象 中学生以上) ◆ 締切日：2月29日(金) 必着/定員：先着700名様

◆ 申込み：①往復葉書または②インターネット(パソコン・携帯電話)にてお申込ください。

①往復葉書に、住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数(本人含めて2名まで)を明記して郵送ください。

送付先 〒190-0012東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3階  
応現院文化講演会実行委員会

②インターネット(パソコン・携帯電話)にて、下記アドレスにアクセス後、応募フォームからお申込みください。

※先着順に「入場整理券」をお送りいたします。※申し込みは一人様1回までとさせていただきます。

◆ 問合せ先：

応現院文化講演会実行委員会 TEL 042-523-9898

<http://www.bunkakoenkai.jp>

